
原 著

娼妓ノ「ツベルクリン」皮内反應ニ就テ

娼妓ノ結核ニ關スル研究(第1報)

(昭和14年12月20日受領)

警視廳醫務課長	加 藤 寛 二 郎
警視廳衛生技師	小 川 朝 吉
同	伊 福 景 人
同	堀 内 捷 市
同	加 藤 英 市

第1章 緒 言

結核慢延ノ最も重要ナル因子トシテ家族感染ヲ舉グルコトハ多數識者ノ一致シタ意見デアルガ此ノ家族感染ノ意義ハ幼少者ノ場合ニ於テ最も重大性ヲ有スル。若干年齢以上例ヘバ青年層ニ於テハ家族感染ノミナラズ個人ノ社會的交渉ノ條件ニ依リ感染ヲ惹起スル場合モ尠クナイ、而シテ此社會的交渉ニ依リ惹起セラレタル感染ノ機會ヲ個々ノ場合ニ於テ追及スルコトハ甚ダ困難ヲ伴フ場合モアルガ、而モ之ガ可能性ヲ想定シ得ル幾多ノ因子ヲ舉グルコトガ出來ル。所謂接客業者ノ業態ノ如キモ比較的結核感染ノ好條

件下ニアルモノト考ヘラル。接客業者ト結核トノ問題ヲ考察スル場合ニ二様ノ見方ガ考ヘラレル、ソノ一ハ接客業者ヨリ客ガ感染スル可能性デアリソノ二ハ逆ニ接客業者ガ客ヨリ感染スル可能性デアル、社會的觀點ヨリシテ第一ノ場合ガ重要ナ意義ヲ有スルコト勿論デアルガ之ガ調査ノ實際ハ全ク困難デアル、余等ハ各種接客業者ノ中特異ナル存在デアル娼妓ヲ撰ンデソノ結核感染狀況ヲ明カニシ、敍上ノ問題ニ關スル若干ノ材料ヲ提供シ度イト思フ。

第2章 研究材料並ニ研究方法

1. 研究材料

警視廳管下ニ於ケル娼妓ヲ對象トシタ、第3乃至第4章ニ述ブルガ如ク、先ヅ管下ニ於テ新タニ娼妓ヲラントスルモノ即チ所謂新登録娼妓ト

管下ニ於テ若干年度娼妓生活ヲナセル所謂一般娼妓トヲ區別シ、總數約2000名ニ就テ調査ヲ行ツタ。

2. 研究方法

結核感染ヲ知ル方法トシテ 1907 年 Pirquet ノ「ツベルクリン」皮膚反應ニ依ル方法が出テヨリ幾多ノ變法が案出サレタガ、余等ハ Manteoux 氏ノ「ツベルクリン」皮内反應ノ方式ヲ用ヒルコト、シタ、但シ「ツベルクリン」ハ 2000 位稀釋

液ヲ用ヒタ。「ツベルクリン」ハ本邦傳染病研究所製舊「ツベルクリン」2000 倍稀釋液ヲ使用シ、 $\frac{1}{4}$ 注射針ヲ用ヒ、0.1ccヲ上膊屈面中央部皮内ニ注射スルコト、シタ。

3. 判定

「ツベルクリン」2000 倍稀釋液 0.1cc ヲ用ヒテ皮内反應ヲ検査スル際ノ判定ノ標準ニ就テハ検査者ニ依リ種々ナル見解ガアルガ、余等ハ次ノ如キ標準ニ依ツテ注意スルコト、シタ。

陽性 發赤長徑 8 mm 以上

疑性 發赤長徑 7—4 mm

陰性 發赤長徑 3 mm 以下

注射後判定マデノ時間ハ 24 時間乃至 48 時間トシタ。

第 3 章 新登録娼妓ノ結核感染率

管下ニ於ケル娼妓ノ結核感染状態ヲ論議セントスル場合先ヅ明カナラシムベキハ新タニ管下ニ於テ娼妓タラントスルモノノ感染狀況デアツテ管下ニ於ケル娼妓ノ結核ニ關スル研究ノ根柢ヲナスモノト考ヘラル、ヲ以テ以下本問題ニ關スル報告ヲナサントスルモノデアル。

警視廳管下ニ於テハ新タニ娼妓タラントスルモノニ對シテハ法的手續ヲ終了シタル後嚴密ナル體格検査ヲ行ヒ、花柳病、結核、「トラホーム」等ノ傳染性疾患ノ有無ヲ檢シ之等疾患ナキモノミヲ許可シ娼妓ニ登録セシムル。

本章ニ於テハ昭和 12 年 7 月乃至昭和 13 年 2 月ノ間ニ警視廳管下ニ於ケル吉原、洲崎、新宿ノ各遊廓ニ新タニ許可登録セラレタル娼妓ニ就テ就業後 1 ヶ月以内「ツベルクリン」皮内反應ヲ

施行セル結果ヲ収録シタ。

之等検査ノ結果ハ第 1 表、第 2 表ニ於テ明カナルガ如ク、約半数ノ陽性者竝ニ陰性者ヲ區別スルコトガ出來タ、而シテ此ノ陽性率ハ年齢、出身地竝ニ就業前ノ生活環境ニ依ツテ左右セラルルコトガ考ヘラル、ヲ以テ、之等ノ因子ニ依ル陽性率ヲ明カスルコト、シ、第 3 表以下ニ之ヲ示シタ。

特ニ生活環境ニ就テハ種々ナル見方モアルガ第一ニ家族環境トシテ家族歴中ニ結核患者又ハ結核死亡者アリシヤ否ヤ、第二ニ社會環境トシテ履歷中所謂接客業ニ従事シタリヤ否ヤニ就キテハ當然注目サルベキデアルガ、本論文ノ特徴トシテ主トシテ前歴ニ就テ調査ヲ行ツタ。

(1) 新登録娼妓ノ結核感染狀況

第 1 表 新登録娼妓ノ陽性率

調 査 件 數		847		
陽 性 數	發赤長徑 8 mm 以上	432	陽 性 率	51.0%
疑 性 數	發赤長徑 4—7 mm	15	疑 性 率	1.8%
陰 性 數	發赤長徑 3 mm 以下	400	陰 性 率	47.2%

(2) 新登録娼妓ノ遊廓別ニ依ル結核感染狀況

第 2 表 新登録娼妓ノ遊廓別陽性率

遊廓名	調査件数	陽性数	疑性数	陰性数	陽性率
吉原	276	142	10	124	51.4%
洲崎	395	183	3	209	46.3%
新宿	176	107	2	67	60.8%
計	847	432	15	400	51.0%

(3) 新登録娼妓ノ前歴ニ依ル結核感染狀況

第 3 表 新登録娼妓ノ就業前職業別陽性率

		調査件数	陽性数	疑性数	陰性数	陽性率
就業前接客業ニ従事セシコトナキ者		140	60	2	78	42.9%
内	自宅ヨリ直接來タリシ者	51 ×1	24	0	27 ×1	47.1%
	譯女中、女工、女店員等ヲ經タル者	89 ×1	36	2	51 ×1	40.0%
就業前接客業ニ従事シタリシ者		707	372	13	322	52.6%
内	女給、料理店其他ノ飲食店、遊戯場等ヲ經タルシ者	83	37	6	40	44.6%
	譯藝妓娼妓酌婦等ノ經歷アル者	624 ×15	335 ×13	7	282 ×2	53.4%

(備考) ×印ノ數字ハ家族内ニ結核患者又ハ死亡者アリシ場合ヲ示ス

(4) 新登録娼妓ノ年齢ニ依ル結核感染狀況

第 4 表 新登録娼妓ノ年齢別陽性率

前歴判定 年齢	接客業ニ従事セシコトナキ者			接客業ニ従事シタリシ者			調査件数	陽性数	疑性数	陰性数	陽性率
	+	±	-	+	±	-					
19	25	2	35	122	5	117	306	117	7	152	48.0%
20	7	0	14	68	2	58	149	75	2	72	50.3%
21	12	0	15	60	3	59	149	72	3	74	48.3%
22	2	0	4	30	0	30	66	32	0	34	48.5%
23	6	0	3	33	3	20	65	39	3	23	59.1%
24	4	0	4	18	0	11	37	22	0	15	59.5%
25	2	0	1	15	0	11	29	17	0	12	58.6%
26—30	2	0	2	26	0	16	46	28	0	18	60.9%
合計							847	432	15	400	51.0%

(5) 新登録娼妓ノ出身地ニ依ル結核感染狀況

第 5 表 新登録娼妓ノ出身府縣別陽性率

前歴判定 出身地	接客業ニ従事セシコトナキ者			接客業ニ従事シタリシ者			調査件数	陽性数	疑性数	陰性数	陽性率
	+	±	-	+	±	-					
樺太	0	0	0	1	0	2	3	1	0	2	33.3%
北海道	8	0	1	54	3	46	112	62	3	47	55.4%

青森	3	0	4	29	1	21	58	32	1	25	55.2%
秋田	7	1	18	23	2	38	89	30	3	56	33.7%
山形	3	0	7	14	1	14	39	17	1	21	43.6%
宮城	5	0	8	22	0	27	62	27	0	35	43.5%
岩手	0	0	1	10	1	4	16	10	1	5	62.5%
福島	7	1	6	40	1	31	86	47	2	37	54.7%
東北地方計							350	163	8	179	46.6%
東京	4	0	1	42	0	22	69	46	0	23	66.7%
神奈川	1	0	0	9	0	7	17	10	0	7	58.8%
埼玉	1	0	2	20	0	10	33	21	0	12	63.6%
千葉	1	0	0	13	1	17	32	14	1	17	43.8%
茨城	3	0	9	28	0	18	58	31	0	27	53.4%
栃木	2	0	3	12	0	22	39	14	0	25	35.9%
群馬	4	0	5	23	1	14	47	27	1	19	57.4%
關東地方計							295	163	2	130	55.3%
新潟	1	0	3	13	0	4	21	14	0	7	66.7%
長野	1	0	2	5	1	7	16	6	1	9	37.5%
富山	0	0	1	1	0	2	4	1	0	3	
福井	1	0	0	0	0	1	2	1	0	1	
北陸地方計							43	22	1	20	51.2%
山梨	0	0	0	2	0	6	8	2	0	6	
静岡	1	0	3	7	1	3	15	8	1	6	
愛知	1	0	0	0	0	2	3	1	0	2	
三重	3	0	0	2	0	2	7	5	0	2	
京都	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
奈良	1	0	1	0	0	0	2	1	0	1	
和歌山	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
島根	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	
福岡	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
佐賀	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	
熊本	1	0	1	0	0	0	2	1	0	1	
鹿兒島	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
朝鮮	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	

第4章 警視廳管下ニ於ケル一般娼妓ノ結核感染率

前章ニ於テ新登録娼妓ノ結核感染狀況ヲ明カシタガ、次ニ管下ニ於テ若干年限娼妓生活ヲナシタルモノ、即チ一般娼妓ノ結核感染狀況ヲ知ルコトガ有意義ト考ヘラレル、依ツテ本章ニ於テハ一般娼妓ニ就キ施行セル調査ノ結果ヲ報告スル。

警視廳管下ニ於テハ、娼妓ハ約7000餘名(昭和13年末)一及ビ此ノ總數ニ就キ調査ヲ行フ事ハ最モ望マシイコトデアルガ、諸般ノ事情ニ依リ

之ヲ行フコトガ困難デアツタノデ、吉原、洲崎、新宿、品川ノ各警視廳病院ニ昭和12年7月乃至11月ノ間ニ入院セル娼妓1133名ニ就テ調査ヲ實施シタ。此ノ調査ノ結果ヲ前章ト同様ニ考察ノ方法ニ從ツテ擧ゲレバ第6表乃至第10表ガ得ラレル、尙本章ニ於テハ特ニ若干年度娼妓生活ヲナシタルモノニ就テ調査ヲ行ツタノデアラカラ此ノ業態ニ於ケル就業年限ニ依リ考察スル必要モアルノデ之ヲ第11表ニ示シタ。

(1) 一般娼妓ニ於ケル結核感染狀況

第 6 表 一般娼妓ノ陽性率

調 査 件 數		1133		
陽 性 數	發赤長徑 8 mm 以上	699	陽 性 率	61.7%
疑 性 數	發赤長徑 4—7 mm	34	疑 性 率	3.0%
陰 性 數	發赤長徑 3 mm 以下	400	陰 性 率	35.3%

(2) 一般娼妓ニ於ケル遊廓別結核感染狀況

第 7 表 一般娼妓ノ遊廓別陽性率

遊 廓 名	調 査 件 數	陽 性 數	疑 性 數	陰 性 數	陽 性 率
吉 原	525	337	12	176	64.2%
洲 崎	436	255	22	159	58.5%
新 宿	79	55	0	24	69.6%
品 川	93	52	0	41	55.9%
計	1133	699	34	400	61.7%

(3) 一般娼妓ノ就業前歴ニ依ル結核感染狀況

第 8 表 一般娼妓ノ就業前職業別陽性率

		調 査 件 數	陽 性 數	疑 性 數	陰 性 數	陽 性 率
就業前接客業ニ従事セシコトナキ者		382	214	14	154	56.0%
内 譯	自宅ヨリ直接來タリシ者	183 × 31	110	6	67	60.1%
	女中、女工、女店員等ヲ經タル者	199 × 20	104	8	87	52.3%
就業前接客業ニ従事シタリシ者		751	485	20	246	64.6%
内 譯	女給、料理店、其他ノ飲食店、遊戯場等ヲ經タル者	275 × 59	176	10	89	64.0%
	藝妓、娼妓、酌婦等ノ經歷アル者	476 × 42	309	10	157	64.9%

(備考) ×印數字ハ家族内ニ結核患者又ハ死亡者アリシ場合ヲ示ス

(4) 一般娼妓ノ年齢ニ依ル結核感染狀況

第 9 表 一般娼妓ノ年齢別陽性率

年 齡	調 査 件 數	陽 性 數	疑 性 數	陰 性 數	陽 性 率	年 齡	調 査 件 數	陽 性 數	疑 性 數	陰 性 數	陽 性 率
19	47	17	1	29	36.2%	26	45	32	2	11	71.1%
20	209	116	10	83	55.5%	27	21	17	1	6	70.8%
21	211	119	4	88	56.4%	28	15	9	1	5	60.0%
22	187	124	3	60	66.3%	29	20	15	1	4	75.0%
23	181	116	6	59	64.1%	30以上	18	10	0	8	55.6%
24	97	68	4	25	70.1%	計	1133	699	34	400	61.7%
25	79	56	1	22	70.9%						

(5) 一般娼妓ノ出身地ニ依ル結核感染狀況

第10表 一般娼妓ノ出身府縣別陽性率

府縣名	調査件數	陽性	疑性	陰性	陽性率	府縣名	調査件數	陽性	疑性	陰性	陽性率
樺太	5	3	0	2		富山	1	1	0	0	
北海道	87	58	1	28		福井	7	2	0	5	
青森	61	35	3	23		石川	2	1	0	1	
秋田	139	81	3	55		北陸地方計					
山形	60	42	1	17		山梨	14	10	0	4	
宮城	114	73	2	39		静岡	16	9	0	7	
岩手	15	10	2	3		愛知	2	0	1	1	
福島	110	61	10	39		三重	2	2	0	0	
東北地方計						京都	2	0	0	2	
東京	103	69	1	33		奈良	1	0	0	1	
神奈川	18	13	0	5		大阪	1	1	0	0	
埼玉	73	37	2	34		岐阜	1	1	0	0	
千葉	53	36	0	17		和歌山	2	1	0	1	
茨城	79	48	2	29		廣島	3	3	0	0	
栃木	69	44	3	22		高知	2	2	0	0	
群馬	37	24	1	12		福岡	2	2	0	0	
關東地方計						長崎	2	1	1	0	
新潟	40	19	1	20		宮崎	1	1	0	0	
長野	9	9	0	0		合計					

(6) 一般娼妓ノ就業年限ニ依ル結核感染狀況

第11表 一般娼妓ノ就業年度別陽性率

管下遊廓ニ於ケル就業年限	就業前職業別	調査件數	陽性數	陽性率
1年未満	接客業ニ従事セザリシ者	89	35	39.3%
	接客業ニ従事シタル者	129	64	49.6%
	小計	218	99	45.4%
2年未満	接客業ニ従事セザリシ者	144	80	55.6%
	接客業ニ従事シタル者	312	195	62.5%
	小計	456	275	60.3%
3年未満	接客業ニ従事セザリシ者	78	52	66.7%
	接客業ニ従事シタル者	176	121	68.8%
	小計	254	173	68.4%
4年未満	接客業ニ従事セザリシ者	50	34	68.0%
	接客業ニ従事シタル者	80	62	77.5%
	小計	130	96	73.8%
5年以上	接客業ニ従事セザリシ者	21	13	61.9%
	接客業ニ従事シタル者	54	43	79.6%
	小計	75	56	74.8%
合	計	1133	699	61.7%

第 5 章 考 按

先づ第 3 章ニ示シタ新登録娼妓ニ就テノ結核感染率ニ就テ按ズルニ、全體ニ於ケルツノ陽性率ハ 51% デアリ、之等ノ年齢 19 歳以上ノ婦女子トシテハ一般都會地ニ於ケル當該年齢陽性率ニ比シ甚ダ低率ナルコト及ビ年齢別陽性率ニ於テ示サレタル如ク年齢ノ増加ニ伴フ陽性率ノ増加ガ比較的顯著デナイコトガ注目セラレル。

此ノ理由ハ比較的の地方ノ結核汚染度ノ少ナキ地方ヨリ初メテ上京セルモノ、多數ナリシコトニ基クモノデアアルコトハ、出身府縣別陽性率ニ依ツテモ明瞭デアアル。

茲ニ興味アル事實ハ就業前ノ職業ニ依リ其ノ陽性率が明カニ異ル點デアアル、即チ就業前既ニ接客業ニ従事シタリシ者ハツノ陽性率 52.6% ナルニ比シ、就業前接客業ニ従事セシコトナキモノハツノ陽性率 42.9% ニ過ギナイ、殊ニ就業前接客業ニ従事セルモノ、中藝妓、娼妓、酌婦等ノ經歷アルモノト單ニ女給、料理店女中其他ノ飲食店、遊戯場等ノ従業員タリシモノト比較スルニ、前者ノ陽性率 53.4% ニ比シ後者ノ陽性率が 44.6% デアルコトモ頗ル興味アル對比デアアル。

第 6 章 結 論

1. 警視廳管下ニ於テ新タニ就業セントスル娼妓 847 名竝ニ若干年度就業セル娼妓 1133 名ニ就テ「ツベルクリン」皮内反應ヲ行ツタ。
2. 新登録娼妓ニアツテハ都會地ニ於ケル年齢同程度ノ一般婦女子ヨリ遙カニ陽性率ハ底率デアツタ。
3. 就業前接客業ニ従事セルモノアツテハ然

尙第 3 表中ニ示シタル家族中ニ結核患者又ハ結核死亡者アリシ場合ニ之等ノ因子ガ陽性率ニ幾何ノ影響ヲ與ヘタリヤハ、調査材料尙不足シテ未ダ之ヲ明確ニスルコトガ出来ナカツタ。

以上ノ關係ハ第 4 章ニ於ケル一般娼妓ノ結核感染率ニ就テモ全ク同様ニ觀察出來ル、茲ニ於テハ特ニ年齢ノ増加ニ伴フ陽性率ノ増加ガ注目サルベキデアアル、其ノ増加ノ割合ヲ詳細ニ觀察スルニ、年齢ニ於テハ 19 歳乃至 22 歳迄ニ於テノミ増加ガ著明デ爾餘ハ増加ノ割合ガ少ナイ。之等ノ事實ハ就業當初ニ於テ相當高率ニ陽性轉化ガ行ハレルコトヲ物語リ爾餘ニ於テ陽性率ノ増加ノ少ナキコトハ陽性轉化ノ減少ト云フヨリモ寧ロ陽性轉化者中ヨリ高率ノ發病者ヲ出シ、之等發病者ハ業態上體力的ニ淘汰セラレ、余等ノ檢索ニ洩レタル結果ニ依ルモノト推定サレル。如斯考ヘ來ル時ハ管下ニ於テ娼妓生活ヲ營ムモノ自身ニ取ツテハ其ノ就業中ニ於テハ結核感染ニ依リ相當ノ慘害ガ想像出來ルカ、他面斯クテ發病セル娼妓ヨリ遊客ニ感染セシムル場合ニ就テハ別個ニ考慮サレナクレバナラナイ。

- ラザルモノニ比シ陽性率ハ高率デアツタ。
 4. 就業年度竝ニ年齢ノ増加ハ共ニ陽性率ノ増加ガ見ラレタ。
- (附記) 稿ヲ擱クニ當リ本研究ニ多大ノ便宜ヲ與ヘラレタル、吉原、洲崎、新宿、品川各病院長、醫長竝ニ醫局員ニ對シ深甚ノ敬意ヲ表ス。